

平成 27 年 監 査 報 告 第 2 号

定 例 監 査 報 告

(定例監査)

企	画	部			
総	務	部			
市	民	経	済	部	
福	祉	部			
健	康	子	ど	も	部
建	設	部			

半 田 市 監 査 委 員

目 次

【定 例 監 査】	1
企 画 部	
企 画 課	2
市 民 協 働 課	3
総 務 部	
総 務 課	3
財 政 課	4
防 災 交 通 課	4
市 民 経 済 部	
市 民 課	5
観 光 課	5
福 祉 部	
生 活 援 護 課	5
高 齢 介 護 課	6
健 康 子 ど も 部	
保 健 セ ン タ ー	6
保 育 園	7
(岩滑こども園、板山こども園、修農保育園、清城保育園)	
建 設 部	
都 市 計 画 課	8
市 街 地 整 備 課	8
む す び	9

監 査 報 告 第 2 号
平成27年12月 2日

半 田 市 長 様
半 田 市 議 会 議 長 様

半田市監査委員 西 川 承

半田市監査委員 久 世 孝 宏

定 例 監 査 結 果 の 報 告 に つ い て

地方自治法第199条第4項の規定に基づいて定例監査を行ったので、その結果を
同条第9項の規定により報告いたします。

第1 監査の時期及び対象

企画部	平成27年10月8日	企画課	・市民協働課
総務部	〃 10月2日	総務課	・財政課・防災交通課
市民経済部	〃 10月2日	観光課	
	〃 10月8日	市民課	
福祉部	〃 10月15日	生活援護課	・高齢介護課
健康子ども部	〃 10月9日	岩滑こども園	・板山こども園・保健センター
	〃 10月14日	修農保育園	・清城保育園
建設部	〃 10月15日	都市計画課	・市街地整備課

第2 監査の方法

平成27年度の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業が、関係法令等に基づき、適正かつ効率的に執行されているかどうかを主眼として平成27年8月31日現在で調製された資料により、監査委員室及び現地において関係職員からの説明を聴取し、監査を実施した。また、前回の定例監査及び26年度決算審査において指摘した課題等の進捗状況等についても重要なテーマとして監査を実施した。

第3 監査の結果

財務に関する事務の執行状況は、一部に検討・改善を要する事例が見受けられたが、おおむね適正かつ効率的に執行されていると認められた。

なお、検討・改善を要する事項については、以下に要望事項を付したので留意されたい。

第4 監査結果の処理基準

処理基準は、下記の基準のうち「指摘事項」「注意事項」又は「要望事項」として記載するとともに、市長、議長及びその他の執行機関に報告し公表する。

なお、「指摘事項」及び「要望事項」については、措置の報告を下記により求めるものとする。

- (1) 指摘事項 法令等に違反する事項で、是正改善を要する場合は文書で措置状況の報告（様式14）を求める。
- (2) 注意事項 是正改善を要する事項で、財務事務の実務上の誤り等で内容が比較的軽易な場合は部課長に対して文書で注意する。
- (3) 要望事項 財務事務及び行政の運営等につき、その適正及び効率性の確保に資する検討・要望事項で、改善すべき事項を含むときは文書（様式15）で措置状況の報告を求める。

企 画 部

1 企画課

(1) 事業の実施状況

企画課は、市政の総合的な企画や調整、市政の長期ビジョンを示す総合計画の策定や管理のほか、行政情報化の推進、広報、統計調査などを担当している。

27年度は、平成29年7月から本格稼働する社会保障税番号制度の導入に向けたシステム改修や、平成27年10月1日



<「マイレポはんだ」の仕組み>

現在で実施する国勢調査の準備作業、ICT技術を利用した「マイレポはんだ」の本格運用を実施している。

(2) 要望事項「電算業務委託について」

半田市の電算業務については、委託先企業への運用やセキュリティ等の管理を一層強めるよう要望する。さらに再委託先の企業に対しても、自主点検報告書や内部監査報告書の提示、研修の実施状況などの委託先における外注管理体制について報告を求めることで、間接的であっても定期的な検証を行う必要がある。

2 市民協働課

(1) 事業の実施状況

市民協働課は、自治区との連絡調整、男女共同参画の推進、広聴に関すること、半田市市民交流センターを窓口にして、市民活動支援、市民相談等を行っている。

27年度は、自治区の共通課題である役員の担い手不足、高齢者への関わり等について協議、検討する「自治区のあり方検討会議」や、市職員を地域（30自治区）に出向かせ、関連課との調整、全庁的な地域情報の連絡体制を整える「地域担当職員制度」を実施している。また、より多くの市民の声を聴くため、市民活動団体、企業、学生を新たに対象に加えた「市政懇談会」の実施を予定している。



<市民との協働による地域環境整備事業>

(2) 要望事項「市民交流センター使用料について」

市民交流センターの使用料は、開設から10年が経過しようとしているが、その間に見直しが行われていない。当初とのコストパフォーマンスの違いや稼働率も含めて見直しの検討を図りたい。

総 務 部

1 総務課

(1) 事業の実施状況

総務課は、庁内施設管理、文書取扱、法規、情報公開、事務管理、入札契約、選挙、補助金等判定会議、新庁舎建設等の市役所の多岐にわたる事務を所管している。

27年度は、1月に供用開始された新庁舎の駐車場整備工事を実施しており、平成28年1月の完成を目指している。

また、戦後70周年にあたるため「半田の戦争記録（最終章）」を編さん、刊行する予定である。



<新庁舎駐車場整備工事の様子>

(2) 要望事項「個人情報管理について」

個人情報管理強化については、総務課が市全体を統括し、各課の取組みを推進していただきたい。各課に対しては決算審査時に、個人情報のリスト化、保管場所や管理責任者の紐付、移動や廃棄ルールなどマニュアル化を要望したところであるが、総務課は、各課に対し運用マニュアル作成のためのガイドラインを提示して、その進捗状況を管理するとともに、市全体としての個人情報管理の強化を図られたい。

2 財政課

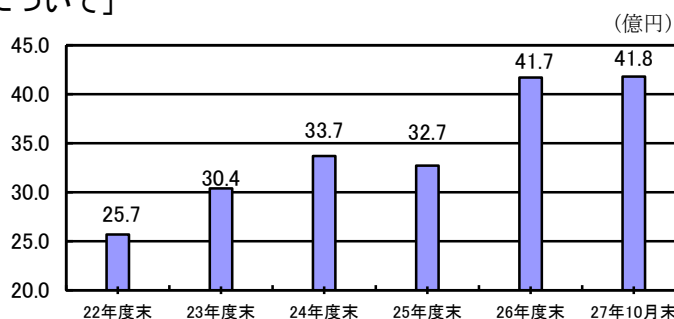
(1) 事業の実施状況

財政課は、市の財政運営に関することや市有財産の管理、モーターボート競走事業、土地開発公社の事務などを担っている。

一般会計の地方債残高は、17年度のピーク時から約134億円減の135億円となる見込みで、着実な削減に努めている。

(2) 要望事項「財政調整基金の最低必要額について」

財政調整基金の必要額は愛知県下平均で算出しているが、本市における災害対応や景気変動など将来の見込みについてより明確に精査して適正額を算出し、余剰資金の中長期的な資金運用の実施に向けて検討されたい。



<財政調整基金残高の推移>

3 防災交通課

(1) 事業の実施状況

防災交通課は、市民の安全・安心を確保するため、防災、交通安全、防犯、消防団、路線バス、駐車場に関する様々な事業を実施している。

27年度は、道路照明灯のLED化、消防団員の待遇改善や団装備の充実等を実施している。また、26年度末に半田口駅東側へ新たな駐輪場を整備したことにより、歩道上に自転車が置かれる状態を解消している。



<整備した半田口駅東駐輪場>

(2) 要望事項「道路照明灯のLED化について」

道路照明灯のLED化については、大きな成果を上げることが期待できるが、今回できなかったデザイン灯についても可能性を探り、知恵を絞って検討されたい。

市民経済部

1 市民課

(1) 事業の実施状況

市民課は、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、諸証明の発行等の窓口業務や、個人番号カードの交付事務を主に実施している。

27年度は、受付業務を委託し、待ち時間の短縮など窓口サービスの満足度向上や、写真サービスや証明書のコンビニ交付など個人番号カードの普及に努めるなど、市民サービスの向上を図っている。



<個人番号カード申請等受付>

(2) 要望事項「業務マニュアルについて」

業務マニュアルは日常的な発見事項や留意点を追記してバージョンアップをしているので、今後も個人情報管理にする事項を含めるなど、つねに進歩していただきたい。

2 観光課

(1) 事業の実施状況

観光課は、観光プロモーションやおもてなしキャンペーンなどの観光振興事業に加え、観光施設である半田赤レンガ建物や半六庭園、観光情報発信拠点であるアイプラザ半田の管理運営を行っている。

27年度は、半田赤レンガ建物や半六庭園等がオープンし、「半田市観光元年」として様々なイベントやキャンペーンを実施し、観光客の集客を図っている。



<観光キャラクター「だし丸くん」>

(2) 要望事項「アイプラザ半田管理運営事業について」

アイプラザ半田について、27年度から観光情報発信拠点として半田市観光協会が施設の指定管理業務を行っているところであるが、これによりコスト削減や施設価値を向上させたのであれば、そのことは評価されるべきである。次回の管理運営業者選定の際に、実績をいかに評価し、施設の管理運営を専門とする新規団体とどのように比較するかは難しい課題であるので、契約初年度からモニタリング、評価に関する取り組みを開始されたい。

福祉部

1 生活援護課

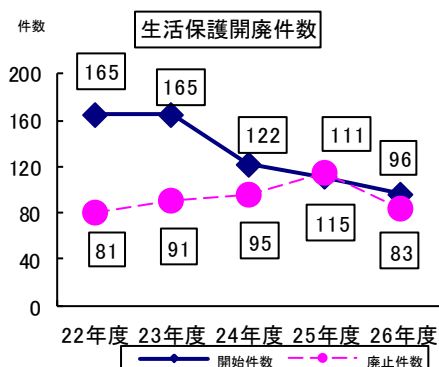
(1) 事業の実施状況

生活援護課は、生活に困窮する方に対し、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する生活保護制度の実施、4月からの生活困窮者自立支援法施行に基づき、生活保護に至る前の段階の生活困窮者の自立の支援や、民生委員・児童委員との連絡・調整を行

っている。

(2) 要望事項「生活保護費の不正受給対策について」

収入があった時に申告しないことに起因する不正受給については、収入があった時はきちんと申告してもらうよう、制度の周知と意識づけを図り、縮減に努めること。また、相続時の場合の対応については、財産の請求権を調査し、市としてどこまでできるのかを明確にされたい。



2 高齢介護課

(1) 事業の実施状況

高齢介護課は、高齢者福祉と社会全体で介護を支える介護保険制度を同じ課で実施することで連携が強化され、迅速な対応ができるようになった。

高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画の初年度である27年度は、人生の最後まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスが包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を実現するため、多職種で構成される推進協議会などを実施している。



<地域包括ケアシステム推進協議会の様子>

(2) 要望事項「半田市社会福祉協議会への委託等について」

半田市社会福祉協議会へのさまざまな補助事業、委託事業については、政策目的を達成するための有効な手段であるが、社会の仕組みが大きく変化することと同様、委託等の役割や必要性なども時代とともに変化するものと考え、常に検証と見直しを地域福祉課と協力して実施されたい。

その際には、①委託料等の算定根拠 ②事業の達成状況などの評価 ③実施の意義 ④終期の設定に留意されたい。

健康子ども部

1 保健センター

(1) 事業の実施状況

保健センターは、母子保健、介護予防、感染症対策、自殺予防、予防接種など、市民の健康づくりを担う拠点である。

27年度は、「半田市新型インフルエンザ等業務継続計画」を策定し、発生時においても市が必要な業務を継続することができるよう対策を進めている。

また、各種がん検診では、受診環境を整備して受診率向上を図っている。



<さわやかフェスティバル健康体操>

(2) 要望事項

「地域自殺対策緊急強化事業（青年期の自殺予防対策のための心理相談）について」

履行確認にあたり、実際に現場へ赴き実施したことは評価したい。当日実施した確認事項は、記録に残し、支出の適正性を証明する資料として保管されたい。

2 保育園

○ 事業の実施状況

【岩滑こども園】所在地：半田市出口町2丁目163番地

園児数 うち、()内は教育標準時間認定児童数 (27年8月31日時点)

年齢別 区分	未 満 児			年少	年中	年長	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
児童数〔人〕	9	15	18	39(11)	38(9)	33(12)	152(32)

【板山こども園】所在地：半田市板山町1丁目100番地の10

園児数 うち、()内は教育標準時間認定児童数 (27年8月31日時点)

年齢別 区分	未 満 児			年少	年中	年長	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
児童数〔人〕	6	15	18	53(14)	48(13)	47(9)	187(36)

【修農保育園】所在地：半田市平井町5丁目64番地の2

園児数 (27年8月31日時点)

年齢別 区分	未 満 児			年少	年中	年長	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
児童数〔人〕	—	5	11	12	17	8	53

【清城保育園】所在地：半田市清城町2丁目6番地の13

園児数 (27年8月31日時点)

年齢別 区分	未 満 児			年少	年中	年長	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
児童数〔人〕	9	10	13	25	41	37	135

○ 要望事項

(1) 現金管理について

施設の防犯セキュリティが強化されたため、個人管理での対応をやめ、園内での現金保管を以下の点に留意し、検討されたい。

ア 園内での現金管理について、全園統一的に実施するため、ルールを定め文書化する。
たとえば、管理責任者と代理権者の明確化、出し入れ方法、カギの保管ルールの作成など

イ 金庫の設置

ウ 現金を取り扱う必要性が発生した場合は、必ず金庫内で保管し、個人管理は禁止する

エ 現金出納帳の作成

オ 金庫内で保管すべき現金、通帳等の選定

(2) 棚卸（備品数量等の確認）の実施と不要物の除却、廃棄の推進

27年1月定例監査において幼稚園、小中学校へ指摘したところであるが、保育園でも同様備品の棚卸（数量等の確認）を実施することで、積極的に不要物の処分を進められたい。

（27年1月定例監査より留意点）

- ア 棚卸の定期的（年1回または2回）な実施
- イ 棚卸対象が多い場合は範囲を限定し、2年程度に分けての計画的な実施
- ウ 棚卸時に出た不要物の転用、売却、廃棄
- エ 外部業者からの廃棄証明の入手
- オ 不要かどうかの判断基準（ガイドライン）の作成

(3) 給食における異物混入対応マニュアルについて

園児等に栄養バランスのとれた安全で安心な食事を提供することは、心身の健康な発達に重要な役割を果たすものであり、給食の安全は適正に管理されなければならない。学校給食も同様であるが、衛生管理マニュアルを定め、異物混入等発生するおそれのある事例を想定し、適切な対応を準備するとともに、実際に発生した場合における対応手順も設けられたい。

建設部

1 都市計画課

(1) 事業の実施状況

都市計画課は、本市の都市計画に関する事務を始め、衣浦港の整備促進や衣浦みなとまつりの実施、都市景観形成、公園・緑地整備などを所管している。

27年度は、雁宿公園北エリアの散策路や植栽の充実、半田運河周辺の景観に配慮した道路舗装や街路灯の設置、南吉生家周辺道路の景観整備などを実施している。



<4月から供用開始した七本木池公園>

(2) 要望事項「樹木管理委託について」

樹木管理委託については、設計金額が均等になるよう委託する区域を見直されているが、災害時に緊急対応ができるよう区域や入札方法も含め、契約のあり方について検討されたい。

2 市街地整備課

(1) 事業の実施状況

市街地整備課は、知多半田駅前土地区画整理事業、乙川中部土地区画整理事業とともに、JR武豊線連続立体交差化に伴うまちづくりを推進している。

知多半田駅前土地区画整理事業は、換地処分を実施し、今年度で完了予定である。また、乙川中部土地区画整理事



<整備された乙川浜田仮踏切>

業は、1件の物件移転と向山墓地の移転により進捗率は95.5%となる。

JR武豊線の連続立体交差事業とJR半田駅前の土地区画整理事業の都市計画決定を行い、国等の関係機関と地域住民と協議、調査、検討を進めている。

(2) 要望事項「保留地処分について」

売れ残っている保留地処分について、事業期間中は価格決定方法の変更はできないため、販売促進のPR方法、PR地域の拡大等、完売に向け、改善・努力されたい。また、33年度を予定している事業の完了が遅延することのないよう、今以上に努力されたい。

第5 むすび

監査の結果は以上のとおりである。

事務処理全般については、決裁印鑑もれや決裁区分誤り、支払遅延など、チェック体制に対する認識の甘さや漫然と前年のとおりとしている状況が見受けられた。日頃から事務の適正化や効率化に努められたい。

個人情報の管理の強化については、各課で次の点を作成していただきたい。

- ① 個人情報のピックアップとリスト化
- ② 保管場所、責任者の紐付
- ③ 出し入れする時のルール
- ④ コピーやプリントアウトする時のルール
- ⑤ 廃棄する時のルール

前回の定例監査及び26年度決算審査で指摘した各課への要望事項等については今回も重点的に進捗状況等の確認を行った。決算審査での要望事項等については、決算審査から定例監査まで比較的短い期間であったが、できるものについては積極的に取りかかっていた印象を受けた。一方で、検討の段階でどうしていくかの結論が出ていないものもあり、出てきた課題への対応が遅いと感じるケースがあった。解決していない課題については、対応が遅れるとさらに問題が大きくなっていくことを認識すべきであり、結論の先送りをせず迅速な対応にあたられることを要望する。

なお、我々の提言は、監査の立場からの視点であり、是非ともメリット・デメリットの比較を行ってほしい。その上で、そこから新たな可能性を探っていただくことを期待し、報告書を結びたい。